



河川の氾濫や洪水に警戒を

問合せ先 危機管理課 ☎072-433-7392

これから雨の多い季節を迎えます。集中豪雨など大雨による河川氾濫、洪水などの水害が発生しやすい時期です。市では、災害発生の危険が高まった場合、避難情報などを発信し、ご自身や家族の身を守るための行動を呼びかけます。「百年に一度は明日かも知れない」という気持ちで、確実に避難行動が取れるよう備えましょう。

危険な場所の確認を！

確実な避難行動のためにも、まず自宅や普段生活する場所に、どのような災害の危険があるのかを確認しましょう。

ハザードマップ
防災情報や、津田川・近木川・見出川の大雨による洪水リスク、大阪府が指定している土砂災害警戒区域・特別警戒区域などを示した土砂災害・洪水ハザードマップを掲載しています。

避難場所・避難経路は事前に確認

安全な避難をするために、避難場所、避難経路は事前に確認しておきましょう。

家族が離れている時の確認方法を決めておきましょう。

感染症を避けるため、災害の危険が少ない地域の知人・親せき宅への避難も検討しましょう。

気象情報や河川情報に注意

水害時に避難行動をとるためには、雨量などの気象情報や近くを流れる河川の水位情報を把握することが重要です。

浸水後の避難は危険です。早めに避難しましょう。

浸水が始まっている場合や激しい降雨で移動するのが危険な場合は、自宅の2階以上の部屋(垂直避難)や崖から離れた部屋への移動など被害を避ける行動をとりましょう。

防災情報の入手方法

防災情報メール
大雨・洪水警報、地震情報や災害発生時の避難勧告などの防災情報を携帯電話にメール配信します。登録は無料ですが、通信料は必要です。

登録方法
touroku@osaka-bousai.net



またQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
大阪府のホームページ【河川や土砂災害の防災情報】

http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html
【気象庁ホームページ】http://www.jma.go.jp/

防犯対策メールに登録しましょう

子どもを犯罪などの危険から守るためには、いつでもどこでも、どんなことが起きているのか知ることが大切です。登録者が同じ情報をいち早く共有し、子どもの安全を見守りましょう。

市内で発生した、子どもに危害がおよぶおそれのある状況や、事件情報などを、携帯電話やパソコンにメールで配信しています。登録は無料(通信料は自己負担)です。



携帯電話での登録方法
kourai@pref-sa.smart-lev.jp

空メールを送信すると、案内に沿って登録方法
https://www.sa.smart-lev.jp/user/manage/kaizuka

安あんまちメール
警察では、府内で発生したひったくりなどの犯罪発

5月20日(水) 午前11時頃 全国瞬時警報システムによる全国一斉情報伝達訓練を行います

全国瞬時警報システム(Jアラート)は、地震や津波、武力攻撃などの緊急情報を人工衛星を用いて国が自治体に送信し、防災行政無線を自動起動させ放送するシステムです。今回の訓練は、国民保護情報の伝達を目的とした訓練です。緊急情報を市民のみなさんに伝達する体制を万全にするため、全国瞬時警報システムと市内に設置している防災行政無線を連動し放送することで、正常に作動しているかを確認するものです。

【放送内容】
～チャイム～「これはJアラートのテストです」×3回
「こちらは防災貝塚市です」
～チャイム～

問合せ先 危機管理課 ☎072-433-7392



5月病

5月頃にいつもと違いなんだか体がだるい、しんどいといった症状がでてくることがあります。入学、就職など新たな環境で常に気が張っているために疲れているのではないのでしょうか。1年目は覚えて慣れて、新しく覚えていくことの繰り返しです。目安として1カ月目、3カ月目、6カ月目などに注意したほうがよいでしょう。最近では研修があり、そこから本格的に仕事に入ることもありますので6月頃に症状が出るかもしれません。今は異動の時期もさまざままで、転職もありますね。

緊張が続いて疲れに気づかないのかもしれませんが、時々息を抜いて深呼吸、疲れていないか自分でチェックしてみましょう。疲れると思ったら、まずは基本の休息をとりましょう。身近に相談できると良いかもしれませんが、話をするだけでも気持ちが落ち着いてくることもありますし、見方が変われば楽になることもあるでしょう。疲れているのに眠れない、食欲がない、やる気が出てこない、すぐに疲れてしまうなど今までと違う症状が1週間以上続くようならうつ状態も考えられますので、病院へ相談してみましょう。

問合せ先 貝塚市医師会 ☎072-423-4130

ほっ スピタル・か い づ か

(43) 肝細胞がんの治療最前線

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

貝塚病院では消化器・肝臓センターを併設し日常診療の中で、肝細胞がん(いわゆる肝臓がん)の治療に積極的に取り組んでいます。肝細胞がんはB型・C型肝炎、肝硬変や脂肪肝から発生することが知られており、これらの治療をいかに早期から開始するかが肝細胞がんの発生を抑制するのに肝要です。当院では最新の抗ウイルス薬治療から脂肪肝の治療まで幅広く対応し、肝細胞がんの予防に努めています。

残念ながら肝細胞がんが発生してしまった場合でも、当院では、通常の肝切除術から低侵襲外科手術センターでの腹腔鏡下肝切除、消化器内科でのラジオ波焼灼術、放射線科での肝動脈塞栓術(カテーテル治療)、最新の分子標的治療薬に至るほぼすべての治療を行っています。

また、これらの治療を患者さんの年齢、病状、肝機能に応じて適切に行っていくと同時に、肝細胞がんの発生を予防する治療も並行して実施しています。患者さん一人ひとりのニーズにあった最新かつ質の高い肝細胞がん治療を行い、泉州地域のみなさんが安心して一貫した良質の肝細胞がん治療を受けることができるよう診療科や職種を超えたチーム医療体制を整えています。

肝臓のことはもちろん、すい臓、胆道、胃、大腸など消化器疾患でお困りのことがありましたら、当院へ気軽にご相談ください。

外科主任部長・低侵襲外科手術センター長 金鋪国